

松下記念病院で肝疾患の治療を受けている患者様・ご家族の皆様へ

緊急入院患者におけるアルコール性肝硬変と比較した非アルコール性脂肪性肝硬変の特徴に関する研究についてのご協力をお願い

今回、松下記念病院消化器内科では、緊急入院患者様におけるアルコール性肝硬変と比較した非アルコール性脂肪性肝硬変の特徴を明らかにする研究を実施します。そのため、以前に緊急入院された方の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

肝硬変の成因ではウイルス性が減少していますが、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)由来の肝硬変が増加しており、アルコール性肝疾患(ALD)も多いのが現状です。当院での肝疾患救急患者様において、ALDと比較したNASHの特徴を明らかにすることを目的としました

研究の方法

・対象について

松下記念病院で2012年1月より2022年6月において消化器内科に緊急入院したLC病名を有するのべ947件の内、LC関連疾患を原因としたのべ455件(252例)の患者様。

・方法について

過去の病歴や診療情報を収集して、統計学的に分析します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

本研究は、松下記念病院医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。また、ご連絡いただけますと、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。

連絡先

松下記念病院 消化器内科

氏名 長尾 泰孝 電話:06-6992-1231(代表)